

「水球日本代表(ポセイドンジャパン)オフィシャルスーツ」を 菅公学生服が倉敷市へ寄贈

菅公学生服株式会社(本社:岡山市北区駅元町 代表取締役社長:尾崎茂)は、水球日本代表(ポセイドンジャパン)オフィシャルスーツを倉敷市へ寄贈いたしました。(男子のみ、女子は株式会社明石スクールユニフォームより寄贈)。オフィシャルスーツは、倉敷市を通じて、7月1日に(公財)日本水泳連盟、水球日本代表チームへ贈呈され、日本代表としての行動時に着用していただくものとなります。



■寄贈時コメント

菅公学生服株式会社 代表取締役社長 尾崎 茂

我々は学生服メーカーとして、長年倉敷市児島の地で制服・体育着の製造をしてまいりました。近年は、子どもたちの夢や学びの応援ということで、特に2020年に向けて、スポーツ、そしてオリンピックを支援しようという活動も行っています。

そして、倉敷市では長年桃太郎カップを開催され、「水球の町倉敷」として活動されていることを存じ上げておりました。一緒になって、ポセイドンジャパンへの支援が何かできないかということで、この度寄贈させていただくことになりました。このスーツを身に着けてますます活躍していただくことを願っております。

倉敷市市長 伊東 香織様

倉敷は「水球の町」として、桃太郎カップを主催しており、今年が10年目の節目の年になります。また、昨年はインターハイも倉敷で開催し、名実ともに若手の水球選手のメッカになっていることを実感しています。2020年のオリンピックも間近に迫っている中、よりさまざまな面で応援していきたいと考えていたところ、菅公学生服さまより男子のユニフォーム、明石スクールユニフォームカンパニーさまより女子のユニフォームを寄贈賜り、倉敷市を通じて日本水連の方へお贈りすることとなりました。地元といたしましても大変ありがたくうれしく思っております。皆様のお気持ちをお伝えし、選手たちが頑張ってくれるよう引き続き応援をしていきたいと思っております。心より感謝申し上げます、ありがとうございました。

■スーツ概要

紳士ジャケット用に開発された倉敷産の高級デニム素材を使用。デニムならではの素材感やインディゴブルーの独特の色合いはオフィシャルスーツとしての品性を備えながらも、若々しさや爽やかさを表現している。

<スーツ>

ポセイドンジャパン用オリジナルモデル。フロントボタンには「JAPAN WATER POLO TEAM 2017」の文字を刻印。襟のフラワーホールと袖のボタンホールには「水球」をイメージした爽やかなブルーを取り入れている。

<シャツ>

白×ブルーのストライプ柄によるボタンダウン。遠征先でも常にシワなくキレイに着こなせ、長時間の着用でも動きやすくストレスの少ないニット素材を使用。胸ポケット上には「JAPAN WATER POLO TEAM」の頭文字をとった「J.W.P.T」を刺繍したオリジナルモデル。

<ネクタイ>

インディゴスーツにコーディネートした紺×オレンジのレジメンタル。剣先には日本代表のロゴを織り込んでいる。



以上